

学位論文審査の要旨

学位申請者	姜 楠 (中国) JIANG Nan
論文題目	Basic Research on the Chinese Cemetery at Kōfukuji Nagasaki 長崎・興福寺後山の中国人墓碑群に関する基礎的研究

審査（試験・試問）委員会

主査 教授 B・F・バークガフニ

委員 准教授 李 桓

委員 客員教授 村田 明久

委員 教授 下川 達彌

(活水女子大学文学部人間関係学科)

〈論文審査の結果の要旨〉

長崎・興福寺後山に広がる中国人墓地は貴重な歴史遺産にもかかわらず、その記録が郷土史料の中にあまり扱われていない。本研究では、碑文を解読し、埋葬者の出身地、身分、職業、奉仕者、死亡時間、船の番号などを確認し、リストを整理した。また、長崎初の中国人墓地における発掘調査を実施した。

第1章 序論では、福寺後山の中国人墓地に関する既往研究や本研究目的について述べた。

第2章 長崎の唐寺と中国人墓地では、長崎の唐寺と中国人社会との関係を分析し、唐寺が中国人社会に果たした役割を明らかにした。長崎における資料等の中に見られる興福寺の創建の時期や創建者に関する誤りを訂正し、三江幫の活動範囲を解明した。興福寺は、媽祖の安置場であり、幫の集会場、さらには三江幫の菩提供養の場であった。

第3章 興福寺中国人墓碑群では、興福寺の過去帳である『靈鑑録』の被記載者の出身地につき、現在の場所を確認し、出身地別人数を集計した。中国人墓碑群に対する現地調査を行い、その調査のデータを『靈鑑録』と照合し、興福寺の中国人墓碑群の名簿と分布図を作成し、墓碑の寸法、墓碑の様式、碑文の書き方、被埋葬者の身分と職業などについて考察した。

第4章 発掘調査では、海難に遭った趙可欽の墓を発掘調査対象として、今まで一度も行われていない発掘調査を行った。図面を制作し、墓碑の寸法を計測した。中国墓地の構造、特に地下の埋設部分を確認した。墓の中に墓誌や副葬品があるのかどうかを判明した。海難に遭った趙氏及び船員たちが遭難現場で埋葬されたのを推定した。さらには、趙可欽の出身地、所属民族、官職位階、業績など、その人物像を解明した。

第5章 結論では、本研究の結果を総括した。

本研究で得られた成果は、今までほとんど注目されてこなかった長崎・興福寺後山の中国人墓地の歴史的背景、被埋葬者の人物像、および発掘調査による地下構造を明らかにした。本研究の成果は、国際貿易港長崎における中国人社会、また中国人墓地に関する研究に大きく寄与するものであり、博士（学術）の学位を授与するに十分値するものと認める。

〈試験（諮問）の結果の要旨〉

学位請求論文の内容、ならびに関連分野に関する学識についての試問を行った結果、本申請者は、博士（学術）の学位を受けるのに十分な学識を有していること、審査（試問）委員全員の一一致により認められた。